

Q1 在宅医療を行う上で課題と感じていること

在宅医療を受ける側(患者・家族)			
A 介護力			4
うち、	1 老々介護・認知介護		3
	2 家族への負担		
	3 放任		1・非協力的な人多い
	4 在宅医療への理解不足		
	5 その他		
B 独居			5
うち、	1 後見人		
	2 急変時等の対応		
	3 ヘルパー等の介入不足		
	4 事務手続き		
	5 見守り		
	6 医療以外の関与の必要性		1・多職種との連携が欠かせない
	7 その他		1・看取り
C 経済的問題			2
D その他			1・在宅医療についての理解が乏しい

地域医療に関するアンケート(在宅医療を行っている診療所向け)【南多摩】

Q1 在宅医療を行う上で課題と感じていること

在宅医療を提供する側			
E	24時間／緊急時対応		8
	うち、		
	1 一人医師		2
	2 夜間・休日		1
	3 外来診療とのかけもち		6
	4 年齢・体力		
			・事務手続きなど医療以外での訪問が必要な場合の対応 ・外来診療時間中の電話対応 ・緊急時対応
F	参入への壁		2
	うち、		
	1 初期費用		
	2 器具／消耗品等の購入		1
	3 診療報酬		1
			・在宅専門でない診療医の場合、使い切る前に使用期限が来てしまう
G	提供する医療		4
	うち、		
	1 患者数の増加		
	2 患者ニーズへの対応・高まり		2
	3 治療内容・検査の限界		2
			・24時間対応を希望する患者の増加 ・生活の質を重視した対応 ・重度な方／複数疾患を抱えた方への対応
H	診療科間の連携		
	うち、		
	1 機能強化型		
	2 他科		
	3 リハ		
	4 情報共有		
I	入院医療機関との連携		13
	うち、		
	1 在宅移行		2
	2 急変時・病状変化時の受入れ		8
	3 レスパイト入院		
	4 退院時の連携		2
	5 看取り		
	6 その他		
			・医療相談室を経由せずに退院する患者が上手く在宅医療に繋がらない

地域医療に関するアンケート(在宅医療を行っている診療所向け)【南多摩】

Q1 在宅医療を行う上で課題と感じていること

在宅医療を提供する側(続き)		3	
J 介護事業者との連携	うち、		
	1 訪問看護ST		
	2 ケアマネ	2	・医療についての知識が乏しい ・能力の向上が必要
	3 その他	1	・訪問介護事業者との連携
K その他		1	・患者との信頼関係の構築
制度的な問題			
L 施設等の不足			
M 駐禁			
N その他			
その他		1	・おくすり手帳の記載方法が薬局ごとにばらばらで煩雑

地域医療に関するアンケート(在宅医療を行っている診療所向け)【南多摩】

Q2 入院医療機関に対して望むこと

患者の受入れ		
A 受入れを望む患者像・状態		
1 急変時	8	・後方支援病院を持ってないので、受入れ先確保に苦勞する
2 独居		
3 複数疾患を抱えている患者		
4 認知症		
5 精神疾患		
6 短期入院		
7 検査入院		
8 レスパイト		
9 状態悪化等で在宅医療が継続困難な場合(長期療養)		
10 看取り		
11 感染症		
B 受入れ手続き		
C 入院受入れ・医療機関の情報		
	3	・退院時だけでなく、入院中も患者の情報提供をして欲しい ・受入情報や疾患別の対応状況等、具体的な情報が欲しい
在宅医と病院の連携		
A 在宅移行支援		
	3	・退院時の担当者会議を積極的に開催して欲しい ・入院中から患者／家族に対して在宅医療について話をして欲しい ・ターミナルの患者については早期に在宅医療へ連携を取って欲しい
B 地域連携の推進		
	2	・入退院がスムーズに行われるよう密な連携をして欲しい
C 逆紹介の希望		
	1	・病状が安定したら速やかにかかりつけ医に戻して欲しい ・在宅から入院した患者が施設へ退院となった場合には、その旨を在宅医に知らせて欲しい
在宅医療への理解		
	4	・在宅医療に対して前向きな考え方を持ってほしい ・在宅で提供できる医療が病院医療と異なるということをきちんと理解して欲しい
その他入院医療に求めること		

地域医療に関するアンケート(在宅医療を行っている診療所向け)【南多摩】

Q3 行政(区市町村・都)に対して望むこと

在宅患者の療養生活を支える関係者への支援・働きかけ		
A 医療と介護の連携	1	・医療、介護関係者の情報交換の場(公開)が必要
B 24時間安心して療養できる体制の構築	1	・多職種が積極的に地域包括ケアシステムに参加できるよう誘導して欲しい
C 人材の確保・育成		
D その他	1	・在宅看取りを進める上での課題を抽出して欲しい
患者・家族に対する支援・働きかけ		
A 高齢者(独居や認知症など)へのサポート	1	
B 経済的負担に対する支援		
C 普及啓発		
1 制度・サービス	2	・在宅を希望する場合の費用面や相談窓口についての周知
2 在宅医療について	2	
3 かかりつけ医		
D 小児在宅(のコーディネーター)		
E 相談窓口	2	
行政自身に望むこと		
A 適切な介護認定		
B 高齢者施設の確保	1	・安価な入所施設
C 在宅医療への移行を適切に推進	1	・在宅だけでなく患者家族が望む場所(病院を含む)での看取りを推進して欲しい
D その他	1	・在宅医療に関するデータベースの充実 ・在宅を行う診療所の数だけでなく、強い分野(診療科等)も合わせて公開して欲しい
その他		